

今週のビルマのニュース 2008年9月19日号【0828号】

今週の主なニュース：スーチー氏、食料を受け取る

・自宅軟禁されている民主化指導者アウンサンスーチー氏は8月20日以降、配達される食料の受け取りを拒否していたが、軍政が氏の要求の一部を受け入れたことを受け15、16日に食料を受け取った。スーチー氏の弁護士によれば軍政は氏が家族からの郵便物を受け取り、外国の雑誌を購読すること、同居する女性2人が昼間に外出することなどを認めた。

・スーチー氏が書記長を務める国民民主連盟(NLD)は16日に声明を出し、氏はハンガーストライキを行っていたのではないと改めて述べた。

その他：総選挙まであと1年半？

・軍政の翼賛団体、連邦連帯発展協会(USDA)筋によれば、軍政は18か月後に総選挙の実施を計画しているという。軍政はまた、選挙に出る政党の登録に関する法律を準備しているとのこと(15日付イラワディ誌)。

・昨年の大規模デモ行進から1年、当局はビルマ各地で厳しい警戒態勢を取っており、民主化活動家など多数を逮捕している。この1週間だけで14人が逮捕された。政治囚支援協会によれば2008年に入ってから286人、8月だけで39人の活動家が逮捕された。

・ランゲーン・サンチャウン区の国民民主連盟(NLD)議長が、子ども兵士の使用について国際労働機関(ILO)に報告しようとしたという罪で2年の禁固刑判決を宣告された。議長はILO宛での告発文書が入ったメモリースティックを持っていたため1月に逮捕され、仮放免されていた(18日付ミジマ)。

・軍政とインド国営水力発電公社(NHPC)は、インド国境近くを流れるチンドウィン川の2カ所でのダム(合計1800メガワット)に関する覚書に調印するとのこと(16日付エコノミック・タイムズ)。

・11のサハロフ賞(言論や思想の自由の擁護に尽くした人や団体に送られる)受賞者・団体が16日、スーチー氏ほか全政治囚の即時解放を軍政に要請した。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

9月12日 3億4600万円の交換公文を締結(マラリア対策計画のための無償資金協力)

イベントなど

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会「現場からみたサフラン・レボリューションとサイクロン被害」(大阪ボランティアセンター地下1階ボランティアルーム、19日19時~)

・日本人ジャーナリスト長井健司さん殺害の真相究明を求める署名キャンペーン 呼びかけ：在日ビルマ人共同行動実行委員会・ビルマ市民フォーラム(都内各所、~10月19日)

・雨安居明けを祝うビルマのお祭り「ダディンジュ祭」国民民主連盟(解放地域)日本支部主催(王子・飛鳥山公園、9月21日11時~)

・ビルマ・ロヒンギャ難民(複数)難民不認定取消訴訟(大阪地裁、24日10時~)

・国民民主連盟(NLD)結成20周年記念デモ行進、NLD(解放地域)日本支部主催(渋谷宮下公園集合、27日13時半~)

・ブリッジ・エーシア・ジャパン「ミャンマーの村の暮らしと水 ~今年で10年、そして井戸100本目も目前~ミャンマー・水供給事業報告会」(JICA地球ひろば3階、26日18時半~) 要申込

・難民事業本部関西支部 わたしたちの難民問題2008/vol.12「ミャンマー難民は今 宇田有三(フォトジャーナリスト)」(神戸市青少年会館研修室、10月2日18時半~) 要申込

サイクロン被災者救援チャリティ・コンサート
出演：沢知恵・いとうせいこう・根本敬、ビルマ市民フォーラム主催(星陵会館、10月17日18時半~) チケット発売中!

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165